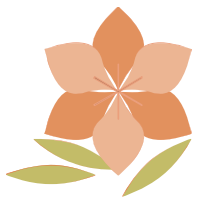


『きたはなプロジェクト』について



美しい道路景観を目指して

『きたはなプロジェクト』は網走市と世界自然遺産 知床を結ぶ国道244号に「知床へのエントランスにふさわしい景観を創りたい!」という地域の有志の声から、平成17年に始まりました。



平成17年から取り組みを継続しています

『きたはなプロジェクト』では、活動範囲全体へ花を行き渡らせる『1stステージ』と、より美しい景観を目指し花の数をさらに増やす『2ndステージ』の2段階で活動を進めてきました。

1stステージ前期
H17～H22

北浜地区の自生種の特徴や育て方を研究し、地域の皆さんと移植活動を開始しました。

1stステージ後期
H23～H27

移植活動の参加者と移植する花の数を徐々に増やし、H27年に活動範囲全体へ花を行き渡らせることができました。H27年から小学生も移植活動に参加しています。

2ndステージ
H28～現在

美しい景観を目指し花の数をさらに増やしながらか、咲いた花を多くの方々に見てもらえるよう情報発信を実施しています。

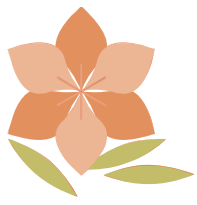
地域・教育機関・企業・行政が一体となって進めています



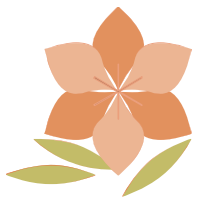
【プロジェクト参加団体】

網走南部地区自治会連合会（北浜自治会）、網走市立白鳥台小学校、東京農業大学、オホーツク21世紀を考える会、網走・明日を拓く道の会、網走市観光協会、網走市、網走開発建設部

【問合せ先】『きたはなプロジェクト』事務局
網走開発建設部 道路計画課 ☎ 0152-44-6510



地元小学校との取り組み



網走市立白鳥台小学校との景観づくり

『きたはなプロジェクト』では、身近な植物とのふれあいを通して自然への理解を深めてもらえるよう、地元小学校である網走市立白鳥台小学校の児童を対象とした取り組みとして、平成27年から「苗の水やり」、「種まき・移植会」を行っています。



苗の水やり（7～10月）

次の年に植えるエゾスカシユリの苗に水やりをし、秋まで育てます。苗を渡す際には、丈夫な苗を育てるための水やりの仕方や、苗の特徴を真剣に聞いてくれました。

種まき・移植会（10月）



苗を作るための種まきをします。まいた種が苗になるまで、3年ほどかかります。

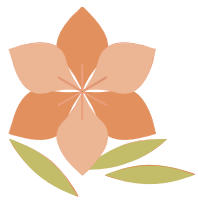


エゾスカシユリの苗を法面に植えます。きれいな花が咲くことを願って、一株一株丁寧に植えてくれました。

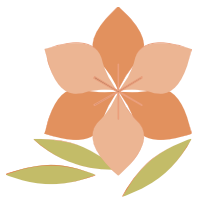
これまでに約80人の児童が種まき・移植会に参加し、植えた苗は約400株に上ります。児童が植えたエゾスカシユリは現在、法面に美しい花を咲かせています。



【問合せ先】『きたはなプロジェクト』事務局
網走開発建設部 道路計画課 ☎ 0152-44-6510



『きたはなプロジェクト』で 移植している花たち



自生する5種類の花を育て、移植しています

『きたはなプロジェクト』では、北浜地区に自生する花のうち、5種類の花を移植しています。この5種類は、『小清水原生花園』のような美しい景観を創るために、『小清水原生花園』でも見られる種類を選定しました。



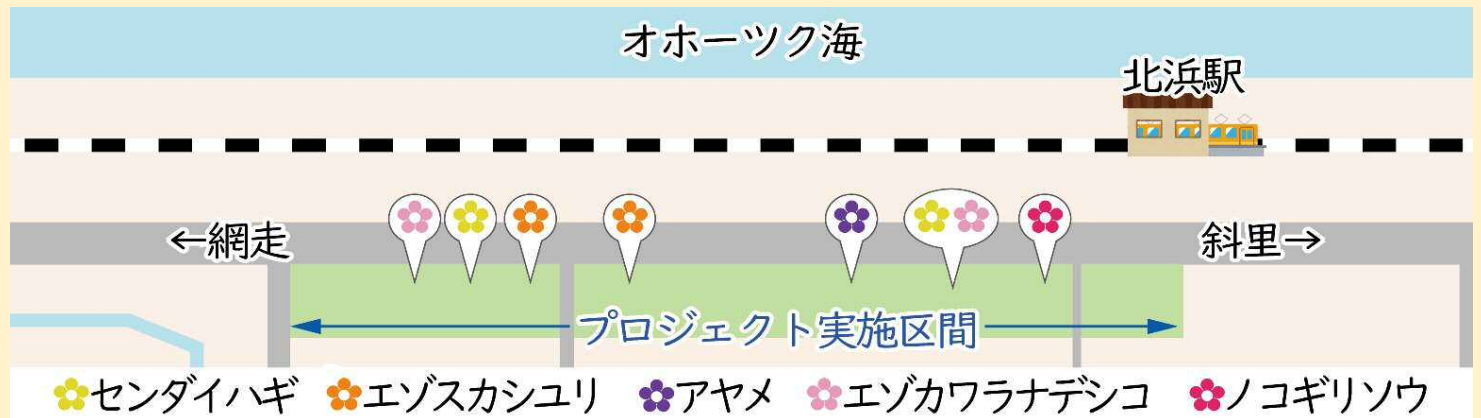
センダイハギ エソスカシユリ アヤメ エゾカワラナデシコ ノコギリソウ

移植している花の見ごろ

北浜法面では初夏から初秋まで花が楽しめるようになっており、特にオレンジ色の花を咲かせる『エソスカシユリ』が開花する6月から7月頃が一番の見ごろとなっています。

種名	5月	6月	7月	8月	9月	10月
センダイハギ		■				
エソスカシユリ		■	■			
アヤメ		■	■			
エゾカワラナデシコ			■			
ノコギリソウ				■	■	

移植している花が見られる場所



【問合せ先】『きたはなプロジェクト』事務局
網走開発建設部 道路計画課 ☎ 0152-44-6510